ISSN1880-4063

第444号
２０２６年
３月２５日
月1回25日発行

げんぱつ

原発住民運動情報

発行所 原発問題住民運動全国連絡センター
発行人 持田繁義／1部300円 年間3,000円
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
MMビルⅡ402
TEL 03-5215-0577（不定期日曜と月末土曜に勤務）
携帯 090-4612-6796 FAX 03-5215-0578
郵便振替 00150-7-355202
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://genpatu.com/index.html
メール＝genpatu-c@bizimo.jp

事故後15年「3・7とめよう原発集会」
８５００名が参加・パレード

３月は全国各地で多彩な集会やパレードが行われた。７日、「とめよう原発！全国集会」が東京・代々木公園で開かれ、８５００人（主催者発表）が参加。「原発ゼロの社会を作ろう」などを訴えながら渋谷、原宿の街をパレードした。９団体でつくる脱原発全国集会実行委員会が主催したもの。ルポライターの鎌田慧氏は、高市首相について「戦争、原発事故への反省がない」と批判。「いろんな人たちと手をつないで運動を広げていこう」と呼びかけた。盛岡大学の長谷川公一学長は、トランプ米政権が国際秩序を破壊し無法な戦争を繰り返す中、無人機攻撃が原発への新たな脅威になっていると強調した。

第39回全国総会・交流集会
○日時＝3月29日（日）
＊午前10時～午後4時
○場所＝東京・全労連会館
民医連8F会議室

東電・エネ庁・規制委交渉
○日時＝3月30日（月）
＊午前10時00～〈東電〉
＊午後1時半～〈エネ庁〉
＊午後2時半～〈規制委〉

原発被災地集会

３・11日には福島県楢葉町で「核兵器廃絶を求める原発被災地集会」が開かれた。ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマを結ぶ「非核の火」を灯す会と「伝言館」が共催したもの。県内各地や北海道や兵庫県などから２５０人以上が参加した。核兵器廃絶と原発ゼロをめざし、「広島・長崎の火」が同町宝鏡寺に「非核の火」として引き継がれた２１年から毎年開かれてきた原発被災地集会。「非核の火」はランタンで会場に灯された。「灯す会」共同代表の早川千枝子さんは、「生まれ育った土地を離れなければならなかった人たちがいる。廃炉作業の見通しも立たない。それなのに、再び原発に頼る生活に向かおうとしている。原発について考える日にしてください」と呼びかけた。共同代表の伊東達也氏は、「原発事故は自然災害ではなく、歴史上最大、最悪の公害です。原発大事故を繰り返してはなりません」と訴えた。井田玲子同事務局長は「今も続く原発事故の被害の実態が、全国に伝わっていないと感じる」と話した。

集会やパレードは、原発立地道県だけでなく、東京、群馬、愛知県、京都府、大阪府、広島県などの都府県でも開催された。

○浜岡原発データ捏造の訴訟への影響（二面）
○事故から15年 福島民のくらし・生業の実態（三面）
○政府、南鳥島を「核のゴミ最終処分場」調査へ（四面）

警鐘

●柏崎刈羽原発６号機の営業運転に躍起の東京電力。１月22日に制御棒関連の警報の誤作動で営業開始予定が２月26日から３月18日に延び、更に２月12日には中性子検出器の補正を行う移動式設備の不具合、３月12日には発電機の漏電警報で発送電停止と、不具合が立て続けに起きた。そのため営業運転は４月以降へと延び延び状態に●漏電はアース用部品の金属疲労による破損と判明。老朽化原発では多発が予想される●これまで東京電力は「３つの大罪」を起こした。一つは２００２年のデータ改ざん事件。二つは福島第一原発の過酷事故。三つは２０２１年の核セキュリティ問題である。他人のIDカードで中央制御室へ入室。原子力規制委員会は「運転禁止命令」を発した●「安全」よりも「稼働」を優先。新潟県中越沖地震の教訓の無視。ほぼ10年毎に事件・事故を起こしている。これらは単なる過失でなく、東京電力に深く根ざした「隠蔽体質」と「安全軽視」の現れ。「ハインリッヒの法則」によれば、営業運転前のトラブルは大事故への予兆・警鐘である。（持田 繁義）